



満足度・生活の質に関する調査の 二次分析

こども・若者・子育て世帯のWell-beingへの活用

本研究の概要①

背景:

- ・ 本協議体でもこども・若者やその保護者のWell-beingが重要とされている。
- ・ しかし、どのような要因が影響するのかというエビデンスは本協議体の議論や意思決定に向けて、より多く把握しておきたい。

研究デザインと使用したデータ:

内閣府が毎年実施している「満足度・生活の質に関する調査」
(2025年)の二次データ解析

本研究の概要②

Study 1: 日本における20歳以下の子どもを持つ親の生活満足度：全国調査の横断的分析

目的: 日本において、20歳以下の子どもを持つ親を対象に、子育てに関連する要因が現在の総合主観生活満足度とどのように関連しているか検討する

変数

- ・ アウトカム: 現在の総合主観満足度
- ・ 説明変数: 社会経済的要因、親が認識する子育てに関する要因、育児に関する制約

Study 2: 日本における15～29歳の若者の生活満足度：全国調査の横断的分析

目的: 日本において、15～29歳の若者を対象に、現在の総合主観満足度、5年後に予測する満足度、5年後の満足度と現在の満足度の差が、現在の分野別満足度13項目とどのように関連しているか検討する

変数

- ・ アウトカム: 現在の総合主観満足度、5年後に予測される満足度、5年後の満足度と現在の総合主観満足度の差分
- ・ 説明変数: 社会経済的要因、現在の分野別満足度13項目

各満足度と設問内容

区分	設問
現在の総合主観満足度	あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。
5年後の総合主観満足度	あなたは全体として5年後（2030年3月頃）の生活にどの程度満足していると思いますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれか1つだけ選んでください。
現在の分野別満足度	生活に関係するさまざまな分野における満足の度合いについて、「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。
各分野名（13項目）	「家計と資産」「雇用環境と賃金」「住宅」「仕事と生活（ワークライフバランス）」「健康状態」「あなたご自身の教育環境・教育水準」「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」「政治・行政・裁判所への信頼性」「生活を取り巻く空気や水などの自然環境」「身の回りの安全」「子育てのしやすさ」「介護のしやすさ・されやすさ」「生活の楽しさ・面白さ」

Study 1: Key findings

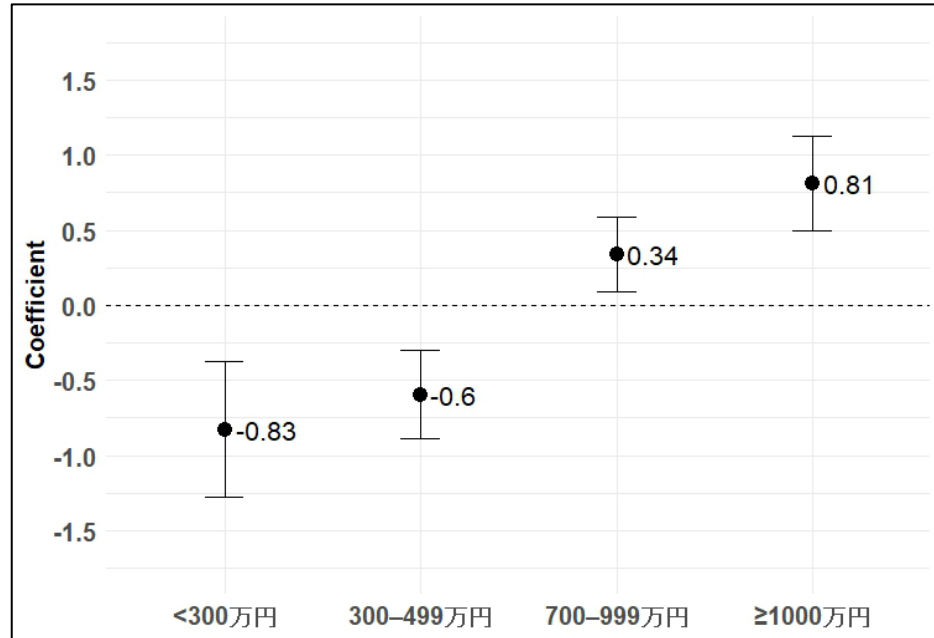


図1.年収と現在の総合主観満足度の調整済み関連性
(基準：500-699万円)

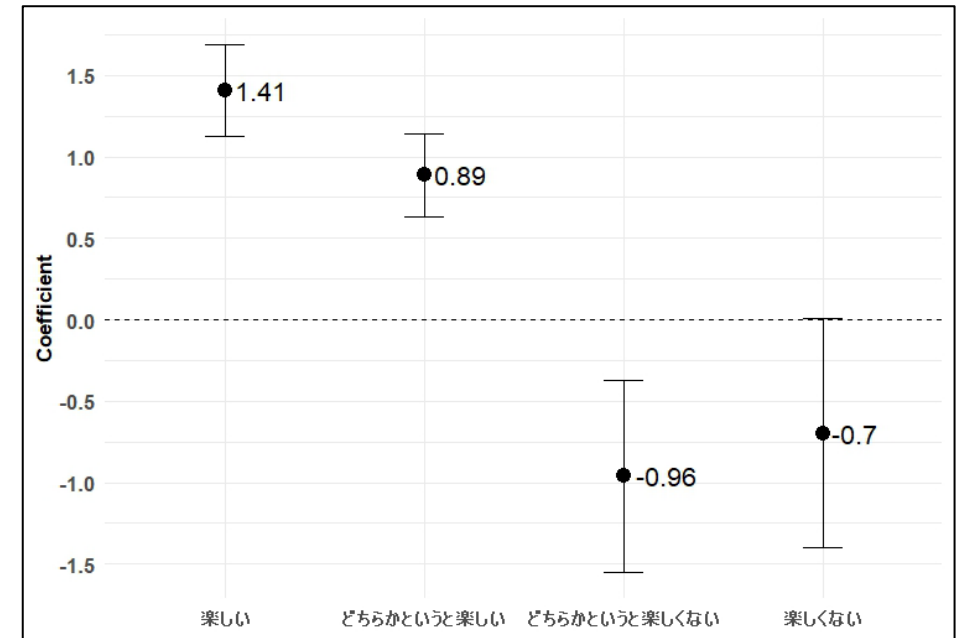


図2.親が感じる子育ての楽しさと現在の総合主観満足度の調整済み関連性 (基準：どちらともいえない)

- 収入は親のWell-beingにとって重要であるが、唯一の要因ではない。
- 子育ての楽しさを感じることは、生活満足度との関連性がより強い。

その他の注目すべき結果

- 女性 → 生活満足度が高い ($\beta=0.48$, 95CI% 0.21-0.74)
- 睡眠時間の短さ (6時間以下) → 有意に生活満足度が低い ($\beta=-0.72$, 95% CI -0.97, -0.47)
- 子育てを助けてくれる人の存在 → 生活満足度と正の関連 ($\beta=0.41$, 95% CI 0.14, 0.68)

Study 2: Key findings

すべてのモデル

説明変数	Model 1 outcome: 現在の総合主観満足度		Model 2 outcome: 5年後の予測される満足度		Model 3 outcome: 5年後－現在	
	Coef	95% CI	Coef	95% CI	Coef	95% CI
現在の総合主観満足度			0.40	(0.37, 0.44)**		
分野別満足度						
家計と資産	0.10	(0.06, 0.14)**	-0.00	(-0.05, 0.04)	-0.06	(-0.11, -0.01)*
雇用環境と賃金	0.10	(0.06, 0.14)**	0.05	(0.01, 0.09)*	-0.01	(-0.06, 0.04)
住宅	0.02	(-0.02, 0.06)	0.01	(-0.04, 0.05)	-0.00	(-0.05, 0.04)
仕事と生活 (ワークライフバランス)	0.12	(0.07, 0.16)**	-0.00	(-0.05, 0.04)	-0.07	(-0.12, -0.02)**
健康状態	0.13	(0.09, 0.17)**	0.05	(0.01, 0.09)*	-0.02	(-0.07, 0.02)
自身の教育水準・教育環境	0.04	(-0.01, 0.08)	0.02	(-0.02, 0.07)	0.00	(-0.05, 0.05)
社会とのつながり	0.13	(0.09, 0.17)**	0.08	(0.04, 0.12)**	-0.00	(-0.05, 0.04)
政治・行政・裁判所への信頼性	-0.05	(-0.09, -0.02)**	-0.02	(-0.06, 0.01)	0.01	(-0.03, 0.05)
自然環境	-0.01	(-0.05, 0.04)	0.07	(0.02, 0.11)**	0.07	(0.02, 0.12)**
身の回りの安全	0.04	(-0.00, 0.08)	0.09	(0.04, 0.13)**	0.07	(0.01, 0.12)*
子育てのしやすさ	0.02	(-0.02, 0.07)	0.02	(-0.03, 0.06)	0.00	(-0.05, 0.05)
介護のしやすさ・されやすさ	-0.02	(-0.06, 0.03)	0.03	(-0.01, 0.08)	0.04	(-0.01, 0.09)
生活の楽しさ・面白さ	0.32	(0.28, 0.37)**	0.09	(0.05, 0.14)**	-0.10	(-0.15, -0.05)**

*p < 0.05, **p < 0.01

- 学生→ 現在の総合主観生活満足度が高い ($\beta = 0.17$, 95CI% 0.02–0.33)
- 女性→ 5年後の生活満足度が高い ($\beta = 0.12$, 95CI% 0.00–0.24)
- すべてのモデルで年収は有意な関連なし

Study 2: Key findings

現在の総合主観満足度（年齢別）

説明変数 分野別満足度	15-19 歳		20-24 歳		25-29 歳	
	Coef	95% CI	Coef	95% CI	Coef	95% CI
家計と資産	0.10	(-0.01, 0.21)	0.06	(0.00, 0.12)*	0.18	(0.10, 0.25)**
雇用環境と賃金	0.05	(-0.06, 0.16)	0.09	(0.03, 0.15)**	0.13	(0.06, 0.20)**
住宅	-0.03	(-0.14, 0.07)	0.01	(-0.04, 0.07)	0.05	(-0.02, 0.13)
仕事と生活（ワークライフバランス）	0.14	(0.02, 0.25)*	0.13	(0.06, 0.19)**	0.09	(0.01, 0.16)*
健康状態	0.16	(0.06, 0.25)**	0.13	(0.07, 0.18)**	0.13	(0.05, 0.20)**
自身の教育水準・教育環境	0.19	(0.08, 0.30)**	-0.01	(-0.07, 0.05)	0.03	(-0.04, 0.11)
社会とのつながり	0.15	(0.04, 0.25)**	0.12	(0.07, 0.18)**	0.11	(0.05, 0.18)**
政治・行政・裁判所への信頼性	-0.03	(-0.10, 0.05)	-0.05	(-0.10, -0.00)*	-0.06	(-0.12, -0.00)*
自然環境	0.03	(-0.07, 0.13)	-0.01	(-0.07, 0.05)	-0.02	(-0.10, 0.06)
身の回りの安全	-0.05	(-0.17, 0.06)	0.10	(0.04, 0.16)**	-0.00	(-0.08, 0.07)
子育てのしやすさ	0.00	(-0.10, 0.11)	0.04	(-0.02, 0.11)	0.01	(-0.07, 0.09)
介護のしやすさ・されやすさ	-0.07	(-0.17, 0.03)	-0.02	(-0.08, 0.05)	-0.01	(-0.08, 0.07)
生活の楽しさ・面白さ	0.32	(0.21, 0.43)**	0.32	(0.26, 0.38)**	0.32	(0.24, 0.41)**

*p < 0.05, **p < 0.01

- 20-24歳：学生→現在の総合主観満足度が高い($\beta=0.23$, 95CI% 0.03-0.42)
- 25-29歳：女性→現在の総合主観満足度が高い($\beta=0.22$, 95CI% 0.02-0.41)
- すべての年齢層で年収は有意な関連なし

Study 2: Key findings

5年後の生活満足度（年齢別）

説明変数	15-19 歳		20-24 歳		25-29 歳	
	Coef	95% CI	Coef	95% CI	Coef	95% CI
現在の総合主観満足度	0.43	(0.33, 0.53)**	0.37	(0.31, 0.42)**	0.47	(0.40, 0.54)**
分野別満足度						
家計と資産	-0.03	(-0.14, 0.08)	-0.02	(-0.08, 0.04)	0.02	(-0.07, 0.10)
雇用環境と賃金	-0.05	(-0.16, 0.07)	0.09	(0.03, 0.15)**	-0.01	(-0.08, 0.07)
住宅	0.19	(0.08, 0.29)**	-0.03	(-0.09, 0.03)	-0.01	(-0.09, 0.07)
仕事と生活（ワークライフバランス）	-0.01	(-0.13, 0.10)	0.04	(-0.03, 0.10)	-0.06	(-0.14, 0.02)
健康状態	0.06	(-0.04, 0.16)	0.03	(-0.03, 0.08)	0.10	(0.02, 0.17)*
自身の教育水準・教育環境	0.02	(-0.09, 0.13)	0.03	(-0.03, 0.09)	0.03	(-0.05, 0.10)
社会とのつながり	0.08	(-0.02, 0.19)	0.08	(0.02, 0.14)**	0.09	(0.02, 0.16)*
政治・行政・裁判所への信頼性	-0.00	(-0.08, 0.07)	-0.01	(-0.06, 0.04)	-0.05	(-0.11, 0.01)
自然環境	-0.00	(-0.11, 0.10)	0.11	(0.05, 0.17)**	-0.02	(-0.10, 0.06)
身の回りの安全	0.04	(-0.07, 0.15)	0.06	(0.00, 0.13)*	0.18	(0.10, 0.26)**
子育てのしやすさ	0.00	(-0.10, 0.11)	-0.02	(-0.08, 0.04)	0.11	(0.03, 0.19)**
介護のしやすさ・されやすさ	0.01	(-0.09, 0.11)	0.06	(0.00, 0.13)*	-0.02	(-0.09, 0.06)
生活の楽しさ・面白さ	0.10	(-0.02, 0.22)	0.10	(0.03, 0.16)**	0.09	(0.00, 0.18)*

*p < 0.05, **p < 0.01

- 15-19歳：学生ではない非就労者→5年後の生活満足度が低い($\beta = -0.76$, 95CI% -1.42 -0.10)
- 20-24歳：女性→5年後の生活満足度が高い($\beta = 0.17$, 95CI% 0.01-0.34)
- すべての年齢層で年収は有意な関連なし

実践および政策への示唆

Study 1：子どもを育てている親

- 親の生活満足度の決定要因は、世帯収入だけでなく、子育ての楽しさや子育て支援のアクセス、睡眠時間なども関連することが示唆された
- 子育ての楽しさを高めるための政策や研究が重要
- 子育て支援のアクセスの向上には、Formal/Informalなネットワークの構築が重要
- 親の適切な睡眠時間を確保するための子育て支援策や生活習慣見直しに向けた取組等の検討も必要

Study 2：15～29歳の若者

- 15～29歳の若者における総合主観生活満足度の特徴は、年齢層を超えて、健康状態、社会とのつながり、ワークライフバランスといった日常生活への関心にあった
- 10代は教育、20代は雇用への関心が優先されるが、現在の生活を楽しんでいると感じ、満足しているかどうかが大変重要
- 5年後の満足度の向上には、社会的つながりや、住宅、自然環境、身の回りの安全性の確保といった身近な環境が重視された